

読むこと①

第2学年

例示の配列を推論することで文章展開の効果を考えよう

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているのかを考えながら読むことができない。

本論の具体例の順番が何かに関係あるの？
筆者が思いついた順番じゃないの？



「水田のしくみを探る」岡崎穂より

- ③ 水資源の確保
- ② 災害を防ぐ
- ① 連作障害を防ぐ

問 水田を土で作る長所についてなぜその順番で筆者は配列を考えたのか。自分の考えを答えなさい。

実践の概要

単元名 分析的に考える 『動物園でできること』三省堂

- 目標** 「本論」で書かれてある例示について考え、自分なりの根拠をもつ。
- 内容**
- ・「本論」の例示を別々に提示し、根拠をもとに配列を考える。(個人で)
 - ・グループで意見を交流することで筆者の論理の展開を推論し、仮説を立てる。
 - ・筆者の配列を知り、自分たちの仮説と比較する。
 - ・学習した説明文の形式を使って作文を書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第3学年	学びの扉をひらく	書き手のものの見方や考え方を伝えるための、論理の展開の意図を読み取ることができない。
第2学年	分析的に考える	叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているのかを考えながら読むことができない。
第1学年	わかりやすく伝える	文章の構成や段落相互の関係を考えて読めていないために要旨がつかめない。

単元末の目指す姿

- ・「個人」で根拠をもち、「グループ」で意見を比べて推論するという順序で活動することで、筆者の論理の展開や意図を考えられるようになる。
- ・「例示」の配列を意識して作文を書くことにより、例示が主張を支える大きな根拠になっていると気付くことができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

「本論」の例示を別々に提示し、グループで意見を交流しながら筆者の論理の展開を推論し、正しい配列について根拠をもとに仮説を立てさせる。

活動のねらい▶ ・それぞれの根拠を出し合い、比較したりまとめたりしていく中で論理的な読みを深める。

ここが
ポイント

個人の意見（パーツ）をグループで集め、比較したりまとめたりしていくことが、筆者の論理の展開を推論することにつながる。ここでしっかりと仮説を立てておくことで、次の段階で筆者の意図を考える大きな手立てになる。

論理の展開を推論する



「野生生物の魅力を引き出した
い」という筆者の思いに照らし
合わせて3つの例示を比較して
みると…。

(期待される生徒の姿)

個人の意見を比較したりまとめたりすることにより、論理の展開を推論することができる。また、内容・形式ともに注目することで、前後の段落から根拠を見つけ出す姿勢が生まれる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

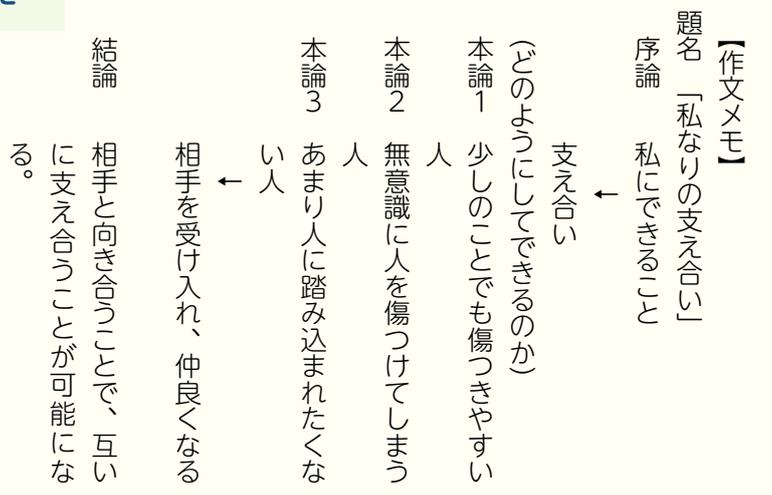
教科書で学習した説明文の形式を用いて作文を書かせる。

活動のねらい▶ ・筆者の論理の展開を模倣することにより、筆者のものの見方やとらえ方の追体験をする。

ここが
ポイント

筆者の論理の展開を模倣し生活作文を書くことにより、筆者の見方や意図を知ることにつながる。今回は特に「本論」の例示の配列に意識をさせることで、例示が筆者の主張を支える大きな根拠になっていることに気付かせる。

作文メモ



(期待される生徒の姿)

「本論」の例示を配列することにより、どのような説得力をもたらしているのか検討する。同じ例示でも並べ方によって効果が変わることを経験できる。